

日本惑星科学会  
2021年秋季講演会プログラム

2021年9月16日-18日

名古屋市立大学田辺通キャンパス宮田専治記念ホール\*  
+オンライン

主催：日本惑星科学会

\* COVID-19 の感染拡大を受けて、オンラインのみの実施に変更されました。

日本惑星科学会 賛助会員

Harris Geospatial 株式会社

株式会社ナックイメージテクノロジー

株式会社ノビテック

## 日程

### 9/16 (木)

---

9:00 - 11:30	最優秀発表賞選考特別セッション
11:35 - 12:45	ポスターコアタイム 1
12:45 - 13:40	昼休み
13:40 - 14:40	リュウグウ 1
14:50 - 15:50	リュウグウ 2
16:00 - 17:10	火星探査
17:20 - 19:20	ポスタータイム 1 (希望者)

---

### 9/17 (金)

---

9:00 - 10:00	原始惑星系円盤 1
10:10 - 11:20	原始惑星系円盤 2
11:30 - 12:40	惑星形成
12:40 - 13:40	昼休み
13:40 - 15:00	表層進化, 隕石
15:10 - 16:10	衝突, ダスト
16:20 - 17:20	総会
17:20 - 19:20	最優秀研究者賞受賞記念講演会
19:30 -	懇親会 (Gather.Town を使用)

---

### 9/18 (土)

---

9:00 - 10:00	惑星探査
10:10 - 11:10	系外惑星
11:20 - 12:30	ポスターコアタイム 2
12:30 - 13:30	昼休み
13:30 - 14:30	月 1
14:40 - 15:40	月 2
15:50 - 17:20	惑星大気
17:30 - 19:30	ポスタータイム 2 (希望者)

---

9月16日(木)

最優秀発表賞選考特別セッション 座長：奥住 聡 (東工大)

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
S01	9:00	奥谷 彩香 (東工大)	周白色矮星円盤の重元素降着率から探る惑星残骸物質の組成と起源
S02	9:15	紅山 仁 (東京大)	木曾 105cm シュミット望遠鏡 Tomo-e Gozen を用いた微小地球接近小惑星の高時間分解撮像観測
S03	9:30	辰馬 未沙子 (東京大)	ダスト集合体の物質強度で探る太陽系小天体形成過程
S04	9:45	大川 初音 (神戸大)	ラブルパイル天体上の衝突クレーターからのポルダール放出過程
S05	10:00	小野寺 圭祐 (総研大)	三次元地震波伝搬シミュレーションによる月地殻の散乱特性評価
	10:15	休憩	
S06	10:25	野田 夏実 (東京大)	初期火星における新たな水素分子生成過程：惑星気候、環境進化、ハビタビリティへの示唆
S07	10:40	豊川 広晴 (総研大)	セレスと月における衝突体サイズ分布の類似とセレスを汚染した二次クレーター
S08	10:55	野澤 仁史 (総研大)	アーチ型天井構造を有する月地下空洞の存在検証と空洞形状を用いた火成活動推定の可能性
S09	11:10	桑山 慎也 (岡山大)	金星硫酸雲の子午面分布：物質循環モデルを用いた凝結物質輸送量の評価

ポスターコアタイム 1 P01 11:35-12:45

リュウグウ 1 O01 座長：岡田達明 (宇宙研), 横田 康弘 (宇宙研)

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O01-01	13:40	岡田 達明 (宇宙研)	近赤外顕微鏡マイクロオメガによるリュウグウ帰還試料の記載状況
O01-02	13:50	矢田 達 (宇宙研)	リュウグウ帰還試料の初期記載から分かった事
O01-03	14:00	大杉 歩 (東京大)	小惑星探査機はやぶさ2の低高度運用で観測された小惑星リュウグウに点在する岩塊の温度変化分布解析 (2)
O01-04	14:10	湯本 航生 (東京大)	リュウグウ帰還粒子キュレーションのための可視マルチバンド分光/ステレオ形状計測装置の開発
O01-05	14:20	道上 達広 (近畿大)	小惑星リュウグウにおけるメートルサイズ以下のポルダール形状分布
O01-06	14:30	横田 康弘 (宇宙研)	はやぶさ2 ONC 画像を用いたリュウグウの地域測光解析

## リュウグウ 2 O02 座長：杉田精司（東京大），杉浦圭祐（東工大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O01-01	14:50	杉田 精司（東京大）	小惑星リュウグウ上の岩塊のスペクトルの統計解析による母天体不均一性の定量評価
O02-02	15:00	矢部 佑奈（東京大）	リュウグウ粒子のステレオ撮像による形状計測とカタログ化
O02-03	15:10	平田 直之（神戸大）	小惑星リュウグウの自転によるエジェクタ堆積への影響
O02-04	15:20	杉浦 圭祐（東工大）	ラブルパイル小惑星の自転加速による変形過程の数値計算とリュウグウやベヌーなどのコマ型形状形成条件
O02-05	15:30	三浦 均（名市大）	小惑星リュウグウの彗星起源説に関する理論的検討
O02-06	15:40	大野 遼（千葉工大）	リュウグウ模擬物質を用いた衝撃回収実験

## 火星探査 O03 座長：倉本圭（北海道大），堺正太郎（東北大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O03-01	16:00	白井 寛裕（宇宙研）	戦略的火星探査の概要
O03-02	16:10	倉本 圭（北海道大）	火星衛星探査計画 MMX：詳細設計段階における科学検討の深化
O03-03	16:20	関 華奈子（東京大）	戦略的火星探査：周回機による火星宇宙天気・気候・水環境探査計画 (MIM)
O03-04	16:30	藤田 和央（宇宙研）	戦略的火星探査：着陸実証機による火星宇宙天気・気候・水環境探査計画 (MIM)
O03-05	16:40	益永 圭（宇宙研）	火星探査機 MAVEN のイオン質量分析観測データを用いた火星外気圏大気密度分布の導出：MMX の将来観測に向けた検討
O03-06	16:50	平田 佳織（東京大）	MMX MEGANE で得られる化学組成データの多変量解析による火星衛星 Phobos の形成仮説の制約
O03-07	17:00	堺 正太郎（東北大）	MMX 搭載 MSA による同位体比計測に向けた外圏リトリバルの数値実験

## ポスタータイム 1 P01（希望者） 17:20-19:20

当初予定していたポスターコアタイムのみでは時間が短いかもしれませんので、追加のポスタータイムを同日の口頭セッション終了後に設定いたしました。お昼のコアタイムと同一の zoom プレイクアウトルーム がご利用できます。ご都合つく方はぜひご利用ください。

## 9月17日（金）

### 原始惑星系円盤1 O04 座長：安井千香子（国立天文台），野津翔太（理研）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O04-01	9:00	安井 千香子（国立天文台）	Spitzer/IRACによるSh 2-208の中間赤外線観測：低金属量環境下における原始惑星系円盤の進化
O04-02	9:10	相川 祐理（東京大）	ALMAによる原始惑星系円盤のHCO <sup>+</sup> 輝線観測
O04-03	9:20	吉田 有宏（総研大）	原始惑星系円盤における一酸化炭素同位体組成の測定可能性
O04-04	9:30	野津 翔太（理研）	H <sub>2</sub> Oスノーライン以遠に影構造を持つ原始惑星系円盤の赤道面化学構造
O04-05	9:40	近藤 克（東工大）	磁気流体力学的に降着する原始惑星系円盤のスノーライン進化：岩石惑星の水含有量進化への示唆
O04-06	9:50	田崎 亮（アムステルダム大）	HD 142527に付随する原始惑星系円盤の水氷特性と乱流拡散への示唆

### 原始惑星系円盤2 O05 座長：瀧哲朗（国立天文台），兵頭龍樹（宇宙研）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O05-01	10:10	奥住 聡（東工大）	原始惑星系円盤の非定常な温度構造進化：新しい数値計算法の開発と熱波不安定への応用
O05-02	10:20	瀧 哲朗（国立天文台）	円盤風によって散逸する降着円盤に現れる移動しないピーク構造
O05-03	10:30	富永 遼佑（理研）	原始惑星系円盤中のダスト成長が駆動する不安定性と微惑星形成：衝突破壊の影響
O05-04	10:40	前田 夏穂（神戸大）	鉛直降着流による巨大惑星の周惑星円盤への衛星材料物質の供給
O05-05	10:50	本間 和明（東工大）	ガス惑星のつくるギャップを跨いだ円盤ダスト混合に対するダストサイズ分布の影響
O05-06	11:00	兵頭 龍樹（宇宙研）	”No-drift”メカニズムによる微惑星形成
O05-07	11:10	芝池 諭人（ベルン大）	磁気円盤風駆動の層流周惑星円盤における微衛星の形成

惑星形成 O06 座長：小林浩（名古屋大），國友正信（久留米大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O06-01	11:30	二村 徳宏（日本スペースガード協会）	タンデム惑星形成論による岩石惑星の質量と組成
O06-02	11:40	小林 浩（名古屋大）	ダストから惑星への統一シミュレーションによる巨大ガス惑星形成
O06-03	11:50	郭 康柔（東京大）	巨大惑星と円盤ガスによる微惑星の軌道進化
O06-04	12:00	Leonardo M.V.Teixeira（名古屋大）	Evolution of Debris Disks Caused by Giant Impacts in the Final Stages of Planet Formation
O06-05	12:10	楊 毅（国立天文台）	SR 21：複数のリングと非対称構造を持つ円盤
O06-06	12:20	岡村 達弥（名古屋大）	惑星への小天体集積率及び集積熱についての理論的研究
O06-07	12:30	國友 正信（久留米大）	惑星形成が太陽内部構造に及ぼす影響について

表層進化，隕石 O07 座長：小林憲正（横浜国大），深井稜汰（宇宙研）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O07-01	13:40	晴山 慎（聖マリアンナ医科大学）	水星の分光スペクトル分類マップに基づく水星の表面進化の考察
O07-02	13:50	WANG Chang-Chin（東京大）	Mineralogical Characterization of Martian Carbonate Analogues
O07-03	14:00	田畑 陽久（東工大）	二価鉄光酸化反応による古 Gale 湖の酸化還元成層条件と古火星水環境への示唆
O07-04	14:10	小林 憲正（横浜国大）	初期惑星のハビタビリティーにおよぼす太陽エネルギー粒子の役割
O07-05	14:20	丹 秀也（東工大）	氷混合物への電子照射実験：エウロパ表面での選択的酸化と内部海組成への影響
O07-06	14:30	川上 結生（大阪大）	金属の露出した小惑星における宇宙風化作用について
O07-07	14:40	高橋 実樹（東北大）	NWA 2900 CK コンドライトに含まれる水質変成を経験した dark inclusion の熱史
O07-08	14:50	深井 稜汰（宇宙研）	隕石全岩の同位体組成・元素存在度による小惑星形成過程への制約

衝突, ダスト O08 座長: 黒澤耕介 (千葉工大), 長足友哉 (神戸大)

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O08-01	15:10	黒澤 耕介 (千葉工大)	天体衝突時の塑性変形加熱が隕石の同位体時計に与える影響
O08-02	15:20	多田 賢弘 (千葉工大)	減衰衝撃波を利用した花崗岩の衝撃回収実験: 石英中の Feather Features の形成圧力
O08-03	15:30	荒川 創太 (国立天文台)	氷微惑星まわりの弧状衝撃波によるコンドルール形成: 細粒リムの集積
O08-04	15:40	長足 友哉 (神戸大)	隕石粒子の低付着力が示唆する小惑星表面粒子の可動性
O08-05	15:50	豊田 優佳里 (神戸大)	多孔質氷球の超低速度衝突における非弾性衝突メカニズムと付着境界速度
O08-06	16:00	吉田 雄城 (東京大)	分子動力学シミュレーションで探るダストモノマー間相互作用

総会 16:20-17:20

最優秀研究者賞受賞記念講演会 17:20-19:20 座長: 野村英子 (国立天文台)

17:20	平野 照幸 (自然科学研究機構)	低質量星まわりの系外惑星探査: 近赤外線観測が切り開く系外惑星科学のフロンティア
18:20	片岡 章雅 (国立天文台)	惑星の種の大きさを測りたい

懇親会 19:30- Gather.Town を使用 希望者

オンライン懇親会をオンラインビデオ通話スペース Gather.Town を用いて開催いたします。特に申し込みは必要ありませんので、ぜひご参加ください。詳細は追ってご案内いたします。

## 9月18日(土)

### 惑星探査 O09 座長：木村宏(千葉工大), 山田竜平(会津大)

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O09-01	9:00	石橋 高 (千葉工大)	DESTINY+搭載小惑星追尾望遠カメラ(TCAP)およびマルチバンドカメラ(MCAP)の開発状況
O09-02	9:10	木村 宏(千葉工大)	DESTINY+ Dust Analyzer(DDA)で計測する星間ダストの化学組成やサイズ分布が如何に星間物質科学を発展させるのか
O09-05	9:20	藤澤 由貴子(慶応大)	あかつき観測から得られる水平風速を用いた金星客観解析データ作成の試み
O09-06	9:30	中村 正人(宇宙研)	宇宙研と大学の連携強化についてー宇宙理工学合同委員会、大学連携強化タスクフォースの活動ー
O09-07	9:40	山田 竜平(会津大)	福島ロボットテストフィールドの惑星探査研究への活用
O09-08	9:50	塚田 悟輝(東北大)	中空光ファイバを用いた太陽系内探査用中間赤外レーザーヘテロダイン分光器の開発

### 系外惑星 O10 座長：吉田二美(産業医科大), 福井暁彦(東京大)

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O10-03	10:10	白田 知史(国立天文台)	30m 光学赤外線望遠鏡計画 TMT
O10-02	10:20	吉田 二美(産業医科大)	TMTを使った新時代の太陽系研究
O10-01	10:30	青木 和光(国立天文台)	超大型望遠鏡 TMT で解き明かす太陽系外惑星
O10-05	10:40	亀田 真吾(立教大)	紫外線宇宙望遠鏡 WSO-UV による系外惑星観測計画の現状
O10-06	10:50	伊藤 祐一(国立天文台)	主星近傍の系外岩石惑星の大気：宇宙望遠鏡 Ariel による検出可能性
O10-07	11:00	福井 暁彦(東京大)	周期比が2に極めて近い惑星ペアがトランジットする M 型星の発見

## ポスターコアタイム 2 P02 11:20-12:30

### 月 1 O11 座長：春山純一（宇宙研），佐伯和人（大阪大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O11-01	13:30	春山 純一（宇宙研）	月惑星の縦孔・地下空洞直接探査（UZUME）その2
O11-02	13:40	庄司 大悟（宇宙研）	月の縦孔・地下空洞直接探査（UZUME）初号機の科学ミッション
O11-03	13:50	唐牛 譲（JAXA）	月極域探査機（LUPEX）－最新状況報告－
O11-04	14:00	石原 吉明（JAXA）	月極域探査機（LUPEX）－観測機器・観測シナリオ－
O11-05	14:10	佐伯 和人（大阪大）	月極域探査のための画像分光カメラ ALIS の仕様と開発状況
O11-06	14:20	荒木 亮太郎（大阪大）	月極域探査のための鉱物種と粒径が異なる着氷鉱物粉体の近赤外分光観測

### 月 2 O12 座長：石山 謙（鶴岡高専），池田 あやめ（名古屋大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O12-01	14:40	折田 まりな（九州大）	月面での小型な地震アレイ探査の有効性と可探深度の検討～月における水資源探査や地盤調査に向けて～
O12-02	14:50	于 賢洋（東京大）	月の熱進化に及ぼすマグマの生成・移動と放射性元素輸送の影響
O12-03	15:00	川島 桜也（東京大）	将来の月極域着陸探査に向けたクレーターおよびボルダールの統計研究
O12-04	15:10	石山 謙（鶴岡高専）	月における嵐の大洋の地下構造解析
O12-05	15:20	竹村 知洋（東京大）	月面表層での資源探査手法の開発に向けた模擬物質の作製
O12-06	15:30	池田 あやめ（名古屋大）	月のクレータ斜面におけるボルダー生成と斜面崩壊過程

## 惑星大気 O13 座長：黒川 宏之（東工大），中山 陽史（東京大）

講演番号	開始時刻	筆頭著者	講演タイトル
O13-01	15:50	谷口 啓悟（東工大）	地下水輸送と透水率の鉛直変化を考慮した陸惑星の大気・気候・水循環
O13-02	16:00	黒川 宏之（東工大）	火星大気ネオンの示唆する揮発性元素に富んだマントルとその起源
O13-03	16:10	樫村 博基（神戸大）	全球非静力学火星大気大循環モデルの開発：地形あり計算
O13-04	16:20	齊藤 大晶（北海道大）	火星サイズの原始惑星内部に分配される揮発性成分量
O13-05	16:30	坂田 遼弥（東京大）	太古火星におけるイオン散逸の固有磁場強度依存性
O13-06	16:40	有馬 銀河（北海道大）	原始地球における NH <sub>3</sub> の海洋への貯蔵と大気海洋系での熱的安定性
O13-07	16:50	赤堀 愛香（東京大）	初期地球大気における原始微生物生態系活動の影響とメタン濃度増幅機構：系外地球類似惑星大気への示唆
O13-08	17:00	中山 陽史（東京大）	高 UV 環境下における地球型 N <sub>2</sub> -O <sub>2</sub> 大気の保持：原子電子遷移に伴う効率的な放射冷却による大気散逸の抑制
O13-09	17:10	小玉 貴則（東京大）	暴走温室限界の自転軸傾斜角、軌道離心率、自転角速度依存性

## ポスタータイム 2 P02（希望者） 17:30-19:30

当初予定していたポスターコアタイムのみでは時間が短いかもしれませんので、追加のポスタータイムを同日の口頭セッション終了後に設定いたしました。お昼のコアタイムと同一の zoom ブレイクアウトルーム がご利用できます。ご都合つく方はぜひご利用ください。

ポスター コアタイム 1 P01

9/16 (木) 11:35-12:45 (希望者は 17:20-19:20 にも実施可能)

講演番号	筆頭著者	講演タイトル
P01-01	山本 聡 (産総研)	D 型小惑星の分光学的分類手法に対する月のハイパースペクトルデータによる検証
P01-02	佐藤 広幸 (宇宙研)	月南極域における地質解析
P01-04	種子 彰 (SEED SCI-ENCE Labo.)	海洋底と Plate Tectonics の起源の謎が、何故月の起源と謎と一緒に述べられるのか? 太陽系としての進化をアブダクションで語ろう.
P01-05	小田中 佑樹 (名古屋大)	シミュレーションによる、微惑星衝突によって形成されるコンドリュール生成量および付着量の解明
P01-06	藤澤 由貴子 (慶応大)	金星大気の新しき衛星観測計画に向けた観測システムシミュレーション実験
P01-07	熊本 篤志 (東北大)	惑星着陸機搭載地中レーダ・表層誘電率計の検討
P01-08	城野 信一 (名古屋大)	双子コンクリーション形成の数値シミュレーション
P01-09	田村 美紗樹 (名古屋大)	数値計算による炭酸塩コンクリーションの自己組織的な空間分布の解明
P01-10	樋口 有理可 (産業医科大)	制限三体問題を用いたケンタウルスの軌道安定性の評価
P01-11	藤谷 渉 (茨城大)	火星衛星探査計画 (MMX) における回収試料の分析プロトコル
P01-13	伊藤 孝士 (国立天文台)	オールト雲起源新彗星の力学進化 10. 他の小天体群への遷移
P01-14	藤田 晃平 (東北大)	原始太陽系星雲散逸後の初期火星膨張大気におけるフォボスの軌道進化
P01-15	福原 優弥 (東工大)	ダストによる現実的な円盤冷却下の鉛直シア不安定性乱流
P01-16	笠原 慧 (東京大)	Comet Interceptor の科学目的とミッション要求
P01-18	金丸 仁明 (宇宙研)	小惑星 Ryugu の軌道と自転の進化
P01-19	藤田 菜穂 (京都大)	短周期 super-Earth の大気的光蒸発に伴う軌道進化: 観測への示唆
P01-20	金子 和夢 (東工大)	氷衛星内部海での凍結融解がリン脂質二重膜小胞のサイズ・形状に与える影響: 人工進化実験の地球外天体への応用
P01-21	田中 智 (宇宙研)	アポロ月震観測で捉えた衝突月震を生成したクレータ探索
P01-22	中村 誠人 (神戸大) (発表: 保井みなみ (神戸大))	熱進化した氷微惑星の斜め衝突に関する実験的研究
P01-23	渡邊 誠一郎 (名古屋大)	はやぶさ 2 探査と微惑星形成
P01-24	盛満 真一 (大阪大)	カンラン石への紫外光照射を用いた宇宙風化模擬実験
P01-25	中川 広務 (東北大)	地球型惑星大気中にみられる乱流拡散係数の多様性
P01-26	平井 隆之 (千葉工大)	DESTINY+搭載用ダストアナライザの開発と地上校正計画 2021

P01-27	石田 紗那 (神戸大)	層構造含水微惑星の模擬物質への衝突実験: デジタル画像 相関法による標的内部の粒子速度分布の計測
P01-28	ソフィア リカフィカ パト リック (近畿大)	太陽系外縁に新惑星の存在の究明
P01-30	中澤 風音 (東工大)	半揮発性物質を考慮した原始太陽系円盤の元素組成進化
P01-31	依田 優大 (東工大)	セレス氷火山における発泡破砕による非平衡塩析出: 地下 海の化学進化への示唆
P01-32	藤井 悠里 (京都大)	ガス惑星の磁場強度の違いによる周惑星円盤構造と衛星系 の軌道
P01-33	平田 成 (会津大)	小惑星 25143 Itokawa の地域的な測光学的特性
P01-34	杉内 光輝 (東工大)	火星酸性流体が岩石表面組織に与える影響: ジェゼロクレー ターに見られる穴状組織の解釈
P01-35	桑原 歩 (東工大)	原始惑星が駆動するガス流が粒子の動径移動に及ぼす影響: 原始惑星系円盤のリング・ギャップ構造への示唆
P01-36	青木 紘介 (東工大)	一酸化炭素の放射吸収・散乱特性を考慮した地球型惑星の 大気構造
P01-37	塩谷 圭吾 (宇宙研)	生命兆候探査蛍光顕微鏡 (LDM)
P01-38	岡田 達明 (宇宙研)	Hera 搭載熱赤外カメラ TIRI による科学観測計画
P01-39	石城 陽太 (東京大)	N 体計算コード GPLUM の開発: 高解像度微惑星集積計算 による展望
P01-40	岡村 裕之 (名古屋大)	光学カメラと XGT5200 を用いた球状鉄コンクリーション の鉄殻成長過程の実験的解明
P01-41	寫生 有理 (宇宙研)	弾丸アスペクト比がクレーター形状に与える影響
P01-42	大竹 真紀子 (会津大)	月極域で検出された揮発性成分の挙動推定

ポスター コアタイム 2 P02

9/18 (土) 11:20-12:30 (希望者は 17:30-19:30 にも実施可能)

講演番号	筆頭著者	講演タイトル
P02-01	黒崎 健二 (名古屋大)	自転天体に対する天体衝突における角運動量輸送
P02-02	大竹 真紀子 (会津大)	月極域探査 (LUPEX) - アウトプット創出に向けた活動-
P02-03	荻原 正博 (東工大)	太陽系形成を通しての地球への水輸送シミュレーション
P02-04	種子 彰 (SEED SCIENCE Labo.)	玄武岩の海が月の表側にだけ有り裏側に無い理由. 月の表側が常に地球に面するメカニズム, そして月が地球マントルだけから作られた本当の理由.
P02-05	山田 理央奈 (名古屋大)	クレーター形状の非対称性からの小惑星リュウグウの過去の自転状態の推定
P02-06	デレオン ジェロームピ (東京大)	若い通過する太陽系外惑星からの星形成の制約
P02-07	小野寺 圭祐 (総研大)	アポロ短周期地震計データの再解析による未検出月震イベントの探索
P02-08	竹原 仁 (東工大)	行列表示を用いた有機物反応のモンテカルロ計算: 星間粒子表面で糖合成が起こる条件の制約に向けて
P02-09	寫生 有理 (宇宙研)	小天体サンプルリターンミッションの候補天体検討
P02-10	笹井 遥 (神戸大)	氷微惑星上の高速衝突により発生する衝突残留熱の定量的評価
P02-11	野村 啓太 (神戸大)	高速度衝突による微小クレーターの形状
P02-12	菊地 紘 (宇宙研)	はやぶさ 2 画像データ検索システム JADE の進捗
P02-14	小林 真輝人 (東京大)	温度依存性を考慮した月・火星地下誘電率の実験的検討
P02-15	櫻庭 遥 (東工大)	地球型惑星集積時の内部・表層進化と元素分配
P02-16	荒井 武彦 (前橋工科大)	小惑星探査機はやぶさ 2 搭載中間赤外カメラ TIR のデータリリース
P02-17	榎本 晴日 (東工大)	原始惑星系円盤における磁束輸送と円盤進化
P02-18	古賀 駿大 (九州大)	円盤形成段階におけるダストのダイナミクス
P02-19	松本 侑士 (国立天文台)	コンドリュールリムの円盤中における集積による厚みの見積もり
P02-20	清水 雄太 (東京大)	小天体表層画像における岩石粒子自動識別法の提案
P02-21	横田 優作 (神戸大)	レゴリス起伏地形の緩和に対するクレーターと非対称エジェクタカーテンの影響
P02-22	岡本 尚也 (千葉工大)	DESTINY+搭載カメラの地上光学校正計画の検討
P02-23	晝場 清乃 (東北大)	太陽高エネルギー粒子が火星オゾンに与える影響の評価
P02-24	有田 直哉 (大阪大)	氷天体において高圧氷相境界が氷固相対流のダイナミクスに与える影響
P02-25	金子 寛明 (東工大)	雷加熱によるコンドリュール形成; 分析・実験と統合的なモデルの探求

---

P02-26	岩田 隆浩	(宇宙研)	MMX 搭載赤外線分光計 MIRS の科学目標と開発状況
P02-27	黒澤 耕介	(千葉工大)	リュウグウの衝突乾燥説の実験的検証
P02-28	平井 英人	(東工大)	タイタンにおける液体メタンへの有機物エアロゾルの溶解 模擬実験
P02-29	土屋 史紀	(東北大)	惑星科学、生命圏科学、および天文学に向けた紫外線宇宙 望遠鏡 (LAPYUTA) 計画の検討
P02-30	佐々木 晶	(大阪大)	リュウグウ表面の熱疲労
P02-31	山本 裕也	(神戸大)	小惑星上の低強度粗粒レゴリス層を伝播する衝突励起地震 波
P02-32	洪 鵬	(千葉工大)	DESTINY+探査機搭載小惑星追尾駆動鏡の検討
P02-33	飯野 孝浩	(東京大)	アルマの高精度観測による、タイタン・海王星の特異な大 気化学・物理過程の網羅的解明
P02-34	長野 巧	(神戸大)	フラッシュX線による衝突破片の速度-質量分布の計測： 粘土を用いた延性標的の衝突破壊実験
P02-35	石澤 祐弥	(東工大)	原始天王星への巨大衝突により生じた蒸気円盤におけるダ スト成長と微衛星形成
P02-36	西谷 隆介	(会津大)	月極域における日照量時間変化
P02-37	中本 泰史	(東工大)	コンドリュール生成に寄与する雷の発生可能性
P02-38	小倉 暁乃丞	(東京大)	LIBSを用いた月隕石元素分析の精度向上研究
P02-39	荒井 朋子	(千葉工大)	DESTINY+プロジェクトの進捗とサイエンス
P02-40	紅山 仁	(東京大)	木曾 105 cm シュミット望遠鏡 Tomo-e Gozen を用いた微 小地球接近小惑星の高時間分解撮像観測
P02-41	大川 初音	(神戸大)	ラブルパイル天体上の衝突クレーターからのボルダー放出 過程
P02-42	浅村 和史	(宇宙研)	JUICE 計画 - PEP/JNA 高速中性粒子観測器の開発
P02-43	塩谷 圭吾	(宇宙研)	JUICE 搭載ガニメデレーザ高度計 (GALA): 概要および日 本担当ハードウェアのフライトモデルの開発・出荷報告
P02-44	関根 康人	(東工大)	木星氷衛星探査計画 JUICE : JUICE-Japan の目指すサイ エンス
P02-45	笠羽 康正	(東北大)	Radio & Plasma Wave Investigation (RPWI) aboard JUICE: 木星および氷衛星への科学目標およびその実現性
P02-46	鄭 夢妍	(横浜国大)	小惑星の熱履歴の制約を目指した炭素質コンドライト隕石 の加熱脱水の反応速度論的研究
P02-47	野田 夏実	(東京大)	初期火星における新たな水素分子生成過程：惑星気候、環 境進化、ハビタビリティへの示唆

---